

# 府高教 ニュース

2018年11月9日 (金)

速報 No. 4

発行所：大阪府立高等学校教職員組合  
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11  
大阪府教育会館707号  
☎06(6768)2106 FAX 06(6768)1675  
http://osaka-fuko.dyndns.org/  
eメールosakafko@jn3.so-net.ne.jp

道理のない「8校廃校」やめよ！ 大阪の高校を守る会

# 10,646名分の署名を提出

## ▶府教委、不当にも本日の会議で「決定」を強行

### 11月8日「守る会」が署名提出行動

府教委は8月30日、「再編整備計画（2019年度～2023年度）」案を発表し、今後5年間に「府立高校・大阪市立高校あわせて8校程度を募集停止する」としました。また、今年度実施対象校として、「定員割れ」を理由に、「勝山高校と桃谷高校ⅠⅡ部を統合する」としました。これは、教育条件改善に背を向け、「少子化」を口実に学校を減らし、子どもたちの「学ぶ権利」を奪う、道理のない高校つぶしです。

大阪の高校を守る会・府高教は、「8校廃校案」の撤回と、背景にある「3年連続定員割れで再編整備」の府立学校条例の見直し、「少子化」をチャンスに35人学級・学校規模縮小など教育条件の改善を行うことなどを求め、9月以降、府民署名の集約に取り組んできました。府内各団体への要請を行うとともに、10月6日に北巽駅、10月19日に桃谷駅、11月3日に扇町公園周辺にて街頭宣伝、11月4日には大阪市内でビラ配布を行うなど、府民宣伝と署名集約に全力をあげました。

こうした中、大阪の高校を守る会は、昨日8日夕刻に署名提出行動を行い、その時点で集約された署名1万646名分を府教委に手交、道理のない高校つぶしの撤回を強く迫りました。また、提出に先だって記者会見を行い、高校つぶしの不当性をマスコミを通じて明らかにしました。

### のべ12万人超の反対の声を踏みにじる暴挙！

しかし、府教委は、本日11月9日午前の教育委員会会議で、不当にも、再編整備計画案と今年度実施対象校案の決定を強行しました。この5年間に集約された高校つぶし反対署名は、昨日提出分を含め、12万5千名に上ります。生徒・卒業生、保護者、教職員、地域住民など関係者をはじめ、広範な府民の反対の声を踏みにじる暴挙であり、断じて容認できません。府高教は、大阪の高校を守る会との連携をいっそう深め、道理のない高校つぶしの撤回に向け、2月府議会への請願書提出など、引き続き取り組みに全力をあげます。

### 教育の条理に立って府教委を厳しく追及 提出行動

8日の提出行動には、勝山高校をはじめ現場の教職員、保護者など12名が参加。府教委側は、再編整備課の大武基課長以下4名が出席しました。冒頭に大阪の高校を守る会の奥野喜久夫会長が署名を手交し、続いて参加者全員が発言し府教委を厳しく追及しました。

#### 【参加者のおもな発言】

- ◆6校が廃校決定されたものと「まだなくなるの!？」と驚きの声が上がっている。子どもたちがいいなと思えば暮らしやすい大阪になって欲しい。
- ◆勝山は生徒の75%が近隣から通っている。そうした子どもたちが必ず行き場を保障されるのか？府教委は説明責任を果たして欲しい。
- ◆桃谷には広域から生徒が来ている。必要な学校だが、それを増やすために他の学校をつぶすのは本末転倒ではないか。
- ◆本校も二年連続で定員割れし今年はずかを超えた。中学校訪問で「今年充足したら次は厳しいですね」と言われた。近くの学校がつぶれるように調整しているのが実態だ。教育の根幹をつぶすような条例は撤回しかない。
- ◆募集停止校の近くの私学が生徒増になるからとプレハブ校舎を建てているという話を聞いた。本当であれば教育条件の大きな低下だ。
- ◆今年の風水害で学校は地域の防災の拠点と実感した。府の財産、地域の財産を、出来るだけ多く残すべきではないか。
- ◆かつての勤務校が統廃合されたとき生徒会長が「私らアホだからつぶされるの?」と言った。生徒にそう思わせる高校つぶしは許せない。
- ◆高校入試を前に中学生は不安を抱えている。落ちられない入試。高校つぶしは「自分の行く高校がなくなる」との不安を煽る。新聞報道されたように全国の4割の高校は定員割れ、19の道府県では半数以上が定員割れだ。そうやって公立高校の役割が果たされている。

#### 【府教委・大武課長の発言】

署名と発言を重く受け止めている。公立高校の役割、高校教育の根幹からの発言をいただいた。府教委も高校教育をいかに充実させるのか考えている。再編整備計画について皆さんと違う所はあるが、子どもが減っていく中、限られた資源をどう充てていくのか考えていかねばならない。本日のことは教育委員にきちんと伝える。